

## ワクチンの副反応

春を告げる桜東風が優しく吹く季節がやって来ました。皆さまお元気にお過ごしでしょうか？ 県内でもコロナウイルス感染症のワクチン接種が始まりましたが、気になるのはその「効果」とアレルギーなどを含む「副反応」です。

一般的に「ワクチンの効果」とは、接種した場

が腫れたり、という反応が起きることがあります。

合と接種しない場合を比べた際の感染する割合が減ることを意味します。世間でよく言われていますが「現段階での95%の有効率」とは、具体的な数字で示すと、1万人にワクチンを接種した場合、新型コロナウイルスの感染者が（未接種の場合に比べて）88人から4人に減るということです。分りにくいかもしれませんが、95%が感染しないという数字ではありません。

一番気になるのはワクチン接種により起こる副反応です。他のワクチンと同様に接種すると、熱が出たり、接種した部分

また、まれに接種した後「アナフィラキシー」と呼ばれる激しいアレルギーが起ることもあります。でも接種後に万が一アナフィラキシーが起こつても、接種会場や医療機関では、それに対応できる医薬品などの準備をしています。ワクチン接種後の待機時間があるのは、この確認のためです。ご自身の体質や基礎疾患によつても違いがあるため、ワクチンの接種を受ける際には、かかりつけ医と相談し、しっかりと説明を聞き納得してから接種することが重要です。

新型コロナウイルスの

ワクチンは、感染を防ぐものではなく発症や重症化を防ぐもの。接種したからうつらない、接種していないからうつるといったものではなく、今まで通りの3密の回避、せっけんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒、マスクの着用が必要で、きちんとした知識を持ち、正しく恐れましょう。

（薬剤師 西 美香）

